

プールの授業の着替え、男女で性器を見せ合った思い出

6年生の夏、プールの授業が終わった後の教室での話。

当たり前だけど、女子はタオルを身体に巻いて着替えるのが定番だった。大きなバスタオルを胸から膝までしっかり巻いて、その中で水着を脱いで制服に着替える。タオルの端を両手でぎゅっと握って、絶対に落ちないようにするのがコツ。友達のユキちゃんは、いつも「これ、落ちたら恥ずかしすぎ！」って笑いながら、タオルを握り潰してたけど、裸が見られる心配なんてほとんどなかった。笑いながら、安心して着替えられた。

男子は、腰にバスタオルを巻いて着替える子が多かった。タオルをカーテンみたいに巻いて、水着を脱いでパンツやズボンを履

く。時々、タオルも巻かずに堂々と着替える子もいたけど、そういうのはクラスのやんちゃ坊主で、目立ちたがり屋のタイプだった。タケシとか、ユウトとか、いつもクラスを中心にいるような男の子たちだ。

プールの後、女子は特に念入りに体を拭く。だって、ワレメのあたりが濡れたままだと、なんか気持ち悪いんだもん。タオルの上から手を入れて、ワレメのところをそっと拭く。タオルを少し押し込むようにして、水気を吸い取るんだけど、その仕草が、なんだかオシッコを我慢してる時みたいで、ちょっとドキドキする。隣で同じように拭いてるユキちゃんが「なんか、変な感じだよね」って小声で笑うから、私もつられて笑っちゃう。ミホちゃんは「これ、ちゃんと拭かないとパンツ濡れちゃうよ！」って真剣な顔で言ってたけど、すぐに笑い声に変わった。みんな同じようにやってるから、恥ずかしいなんて思わなかった。ただ、友達がタオル

をワレメに押し当てて拭いてる姿をチラッと見ると、なんだか不思議な気持ちになった。

そんなある日のこと、プールの後の着替えの時間に、いつものように教室が騒がしくなった。男子の何人かが、タオルを腰に巻いて着替えてるとき、股間のあたりが妙に膨らんでるのに気づいた。クラスのやんちゃな男の子、タケシが、ニヤニヤしながら「チンコが大きくなってる！ ほら、ほら！」って大声叫んでた。見ると、確かにタオルの股間のあたりが、前に突き出してる。まるでタオルの中に鉛筆でも隠してるみたいだった。

私と隣にいたミホちゃんが、思わず「あれ鉛筆じゃない？」って冗談で言ったら、タケシが「違うよ、ほら！」って、突然タオルをバツと取った。教室の空気が一瞬、止まった。そこには、ピンと立ったオチンチンが、ロケットみたいにピーンって立ってる。毛も生えてな

くて、皮も剥けてない、かわいいオチンチン
だったな。